

安心安全スマホ教室 指導者養成カリキュラム表

項目	時間(分)	題名	ねらい	内容
講義	10	本日のねらい 子どもに寄り添う安心安全なスマホ利用の指導とは	利用者の低年齢化が進むスマホで、子どもたちに安心安全利用をどのように指導するか、基本的な考え方を理解する	スマホの安心安全利用では、子どもたちが自ら問題を考える態度を育成し、実際の行動に移せる力を身につけることが重要であることの説明
体験	5	アイスブレイク		参加者相互の自己紹介。子ども役になりワークを進めることで指導者としてのスキルを高めることの説明
講義	5	「マイルール作り」指導体験 オリエンテーション	小学校中学年～中学生向けに、インターネットの安心安全利用の行動ルールづくりを行う活動の指導について学ぶ	普段スマホを使用している子どもに、スマホを安心安全に利用するにはどう行動すればよいかを考えさせる方法を学び、行動ルールとして宣言する方法を学ぶ
ワーク①	30	「安心安全にスマホを利用するマイルールづくりワークショップ」① 4-22「情報を上手に発信しよう～短い文章で気持ちをあらわすには・・・」	デジタル教材「ネット社会を生きる力」を使用して、子どもがスマホを安心安全に利用する「マイルール」を書けるようにする指導方法を体験する	教材のトラブル事例を取り上げ、なぜ登場人物がトラブルに巻き込まれたか、どのように行動すれば良いのかを討論して、最終的に自分が実行できるルールとして記述することを体験的に学ぶ
体験	10	リフレクション	指導方法の振り返りを行う	話し合われたことと、グループごとに作成した「マイルール」を発表し、体験から得られた指導上の気づきを意見交換する
休憩	5			
ワーク②	30	「安心安全にスマホを利用するマイルールづくりワークショップ」① 2-4「ネットと上手につきあおう～仲間はずしにあったらどうする？」	デジタル教材「ネット社会を生きる力」を使用して、子どもがスマホを安心安全に利用する「マイルール」を書けるようにする指導方法を体験する	教材のトラブル事例を取り上げ、なぜ登場人物がトラブルに巻き込まれたか、どのように行動すれば良いのかを討論して、最終的に自分が実行できるルールとして記述することを体験的に学ぶ
体験	10	リフレクション	指導方法の振り返りを行う	話し合われたことと、グループごとに作成した「マイルール」を発表し、体験から得られた指導上の気づきを意見交換する
講義	15	実際に指導をするときの留意点 教材から学ぶ子どもの実態 「どうしてあぶないの-しゃしんのやりとりに気をつけて-	実際に指導をするときの、子どもの実態に即した声かけなどの留意点を伝える デジタル教材「どうぶつの町でトラブルがおきた!」を紹介し、小学生のネットの活用の実態についての理解を深める	学年、発達段階、グループの人間関係に即し指導を変える必要があることを学ぶ ゲームなどを通して子どもが大人の想像以上にネット上の他人と接している実態を知り、子どもの頃からリテラシーを身につける必要があることを理解する